



古祖母

高千穂町立岩戸小学校学校だより

NO. 2
(6月号)
29. 07. 03

「聞く」から「聴く」へ・・・

6月には、町教育委員会や県教育事務所の方々が来校され子どもたちの学習の様子を見る「学校支援訪問」や、学校評価委員の方々も来られた参観日があり、私たち学校職員も子どもたちの現在の学習状況を判断する機会となりました。

岩戸っ子は懸命に学習に取り組んでいるという評価を来校された方々からいただき、喜びを感じると同時に、今後に向け、職員全員で再確認したこともありました。

それは、学習の基本の1丁目1番地は「きくこと」ということです。

きくを漢字で書くと2通りあります。「聞く」と「聴く」です。聞くの意味は耳で音や声を感じ取るで、聴くは耳を傾け注意して聞き取る。学年が上がるにつれ、聞く態度から聴く態度へとつながっていくことを目指します。

「先生の言わすことをよく聴いとけ」と私が小学生の頃、よく親から言われました。現代は「先生の話や友達の意見・考えをよく聴きましょう」と少し変化はしておりますが、そこも踏まえながら、基礎学力をしっかりと身に付けさせるために今後とも努めて参ります。



【第5学年：4月参観授業の様子から】

存在感が出てきたグリーンカーテン・・・



先般のPTA奉仕作業の時に、2年ぶりに設置していただいたグリーンカーテン用のネットに、成長しはじめたアサガオなどが届くようになり、日増しにその存在感が大きくなってきました。ありがとうございました。

また、1・2年生が植えた芋や、5年生が植えた稲もしっかりと根付き順調に育っています。こちらの方も、田畑を提供していただいた地域の方や植付作業に御加勢いただいた保護者のみなさんのおかげです。ありがとうございました。